



## Cisco APIC SSD の交換

この手順を使用して、Cisco APIC のソリッドステートドライブ (SSD) を交換します。



- (注) この手順は、クラスタに正常な SSD を備えた APIC が少なくとも 1 つあり、完全に適合している場合にのみ実行する必要があります。クラスタ内のすべての APIC コントローラに障害が発生した SSD がある場合は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) でケースをオープンしてください。

- [Cisco APIC のソリッドステートドライブ \(SSD\) の交換 \(1 ページ\)](#)

## Cisco APIC のソリッドステートドライブ (SSD) の交換

### 始める前に

- Cisco IMC リリースが 2.0(9c) より前の場合は、ソリッドステートドライブ (SSD) を交換する前に Cisco IMC ソフトウェアをアップグレードする必要があります。対象の Cisco IMC リリースの [リリースノート](#) を参照して、現在のリリースから対象のリリースへの推奨されるアップグレードパスを確認してください。この [リンク](#) にある『*Cisco Host Upgrade Utility (HUU) User Guide*』の現在のバージョンの指示に従って、アップグレードを実行します。
- Cisco IMC BIOS で、トラステッドプラットフォームモジュール (TPM) の状態が「有効」に設定されていることを確認します。KVM コンソールを使用して BIOS 設定にアクセスすると、[高度 (Advanced)] > [トラステッドコンピューティング (Trusted Computing)] > [TPM ステート (TPM State)] で TPM の状態を表示および構成できます。



- (注) TPM ステートが「無効」の場合、APIC は起動に失敗します。

- [シスコソフトウェアダウンロード](#) サイトから APIC .iso イメージを取得します。



(注) APIC .iso イメージのリリースバージョンは、クラスタ内の他の APIC コントローラと同じバージョンである必要があります。

**ステップ 1** クラスタ内の別の APIC から、SSD を交換する APIC を廃止します。

- a) メニューバーで、**System > Controllers** を選択します。
- b) **Navigation** ウィンドウで、**Controllers > apic\_controller\_name > Cluster as Seen by Node** を展開します。**apic\_controller\_name** には、廃止されていない APIC コントローラを指定します。
- c) 継続する前に、**Work** ウィンドウで、クラスタの **Health State (Active Controllers** サマリ テーブルに示されているもの) が **Fully Fit** になっていることを確認します。
- d) 同じ **[作業 (Work)]** ペインで、廃止するコントローラを選択し、**[アクション (Actions)] > [廃止 (Decommission)]** をクリックします。
- e) **Yes** をクリックします。  
解放されたコントローラは **[Operational State]** 列に **[Unregistered]** と表示されます。コントローラは稼働対象外になり、**[作業 (Work)]** ウィンドウには表示されなくなります。

**ステップ 2** 古い SSD があればそれを物理的に取り外し、新しい SSD を追加します。

**ステップ 3** Cisco IMC で、新しく取り付けられた SSD を使用して RAID ボリュームを作成します。

Cisco IMC については、『Cisco UCS C シリーズ統合管理コントローラ GUI 構成ガイド』を参照してください。「ストレージアダプタの管理」の章の「未使用の物理ドライブからの仮想ドライブの作成」の手順に従って、RAID 0 仮想ドライブを作成および初期化します。

**ステップ 4** Cisco IMC で、仮想メディアを使用して APIC イメージをインストールします。この手順では、SSD がパーティション分割され、APIC ソフトウェアが HDD にインストールされます。

(注) Cisco APIC リリース 4.x 以降の新規インストールについては、『Cisco APIC のインストール、アップグレード、およびダウングレードガイド』を参照してください。

- a) Cisco IMC vMedia 機能を使用して、APIC .iso イメージをマウントします。
- b) コントローラを起動し電源を再投入します。
- c) 起動プロセス中を押して **F6** を選択、**Cisco vKVM マッピング vDVD** ワンタイム ブート デバイスとして、BIOS パスワードを入力する必要があります。デフォルトのパスワードは「password」です。
- d) 最初の起動時に、構成スクリプトが実行されます。画面の指示に従って、APIC ソフトウェアの初期設定を構成します。
- e) インストールが完了したら、仮想メディア マウントのマッピングを解除します。

**ステップ 5** クラスタ内の APIC から、廃止された APIC を起動します。

- a) クラスタの一部である他の APIC を選択します。メニューバーで、**[システム (System)] > [コントローラ (Controllers)]** を選択します。
- b) **Navigation** ウィンドウで、**Controllers > apic\_controller\_name > Cluster as Seen by Node** を展開します。**apic\_controller\_name** には、クラスタの一部であるアクティブなコントローラを指定します。
- c) **[作業 (Work)]** ウィンドウで、**未登録 (Unregistered)** と稼働状態 (**Operational State**) 列に表示されている廃止されているコントローラをクリックします。

- d) **Work** ウィンドウで、**Actions** > **Commission** をクリックします。
- e) **Confirmation** ダイアログボックスで **Yes** をクリックします。

稼働済みコントローラには、正常性状態が**完全適合**と表示され、動作状態が**使用可能**と表示されます。これで、コントローラが**[作業 (Work)]** ペインに表示されます。

---



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。